

(2024/04/08)

入学式 式辞

新しい始まりを感じさせる季節を迎えました。学校の桜の花もまもなく見頃を迎えることと思います。

そのような今日の良き日に、PTA会長佐藤昇様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、令和六年度入学式を挙行できますことは、私たち教職員にとって、この上ない喜びであり、保護者の皆様方とともに祝福したいと思います。まことにおめでとうございます。

ただ今、入学を許可した280名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生、教職員を代表して、皆さんの入学を心から歓迎します。

さて、本校は、昨年創立30年を迎えました。これまで、8千人以上の卒業生が国内外で活躍しており、皆さんは本校31回生となります。

ここ数年は、定員割れが続いていた本校ですが、今年度の高校入試では志願者が増加し、高い倍率となりました。その中から選抜された280名が皆さんです。遠慮せず意欲的に、本校での諸活動に取り組んでくれることを期待しています。

ところで新入生の皆さん、皆さんが本校への入学を志望した理由は何でしょうか？例えば「家から近いから」「自分の学力に合っているから」「親に勧められたから」などなど、いろいろな理由を挙げてくれることだと思います。

私は、もしかしたら皆さんの気持ちの中に、潜在的に次のような思いがあるのではないかと想像しています。それは何かというと「自分の中の能力を最大限引き出し、磨いてくれるのではないか」という本校に対する期待感です。

そのように考えたのは、「富谷高校の生徒には伸びしろがある」という、本校教職員の伝統的な共通認識があるからです。伸びしろとは、言い換えれば、磨けば光る才能や能力のことです。

皆さんの先輩たちは、本校でのさまざまな学びをとおして、伸びしろである、自分自身の才能や能力を自覚し、それを高められるよう努力しています。そしてそのような本校の生徒の姿が、皆さんをはじめとする地域の方々に、広く好意的に受け止められているように感じられるからでもあります。

この春卒業した生徒たちは、本校での学びをとおして、伸びしろをしっかりと伸ばしてくれました。上級学校でさらに学びを深めようと、国公立大学へ37名、県内外の私立大学へ約160名が進学しました。もちろん、大学進学がゴールではなく、その先にある、「社会貢献する自分の姿」をイメージして進学という進路を選んでいきます。

私たちは皆さんの才能や能力を発掘したり磨き上げたりするお手伝いはできますが、何より重要なのは、皆さん自身が自らの才能や能力に気づき、それを高める努力をすることです。そのためにも本校での学びの中で、特に、総合的な探究の時間での学びを大切にしたいと思います。

本校は、ユネスコスクールに加盟しており、SDGsの取り組みを推進していることが特色の一つです。それらの学びを深める時間が総合的な探究の時間であり、本校ではT-timeと呼んでいます。大まかに言うと、「知る」「考える」「語る」という段階的な学びをとおして、正解の無い課題に自ら挑戦し、解決策を提案するものです。

1年次には、世界や地域の課題を知る、2年次には、課題解決策を仲間とともに考える、3年次には、さまざまな角度で検討した解決策を人々に語る、というかたちで学びを深めます。そして、自分がどのようにして社会課題の解決に貢献していくのか、自分の進路を真剣に考えることもT-timeの重要な柱となっています。

今月20日の土曜日に、3年生によるT-timeの研究成果発表会である「収穫祭」が開催されます。保護者の皆さんも、3年生が語る、地域の課題とその解決策を楽しみにして、ぜひ本校にお越しください。詳しいご案内は後日させていただきますのでよろしくお願いいたします。

令和6年は、能登半島地震、羽田空港の飛行機事故という悲しいニュースからスタートしました。世界に目を向ければ、ロシアとウクライナ、イスラエルとイスラム組織ハマスとの戦争は終息する見通しが立ちません。また、皆さんの学校生活にも大きく影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症にしても、克服したわけではありません。

このように、私たちの周りには解決の難しい問題があふれています。そのような時代にこそ、本校T-timeでの課題解決学習で身につけたスキルが求められると思います。

困難な課題に対して、思考を放棄してギブアップするのではなく、何かできることがあるはずだと粘り強く解決策を探っていく、そのような力を身につけて、社会で活躍してくれることを皆さんに期待します。

結びに、新入生及び保護者の皆様には、本校で3年間を過ごして良かったと実感していただけるよう、本校教職員一同、一丸となって教育活動に努めて参ります。保護者の皆様におかれましては、本校教育活動へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年4月8日

宮城県富谷高等学校
校長 田淵 龍二